

技術支援活動

【概要】

会員の皆様が抱える技術的な疑問、悩みに対して、鉄道技術推進センターでは相談窓口を設け、「電話問合せ」「現地調査」「訪問アドバイス」の3つの活動を行っています。

【電話問合せ】

会員からの電話・FAX等による鉄道技術に関する様々な疑問・質問に対して、参考文献の送付や鉄道総研の研究者の見解などを文書にまとめて回答するサービスです。

平成8年度から実施

平成18年度末までに525件実施

【現地調査】

中小鉄軌道事業者会員に対し、『鉄道総研の研究者』が現地を訪問して、技術的な調査を行うサービスです。

平成14年度から実施

平成18年度末までに20件実施

【訪問アドバイス】

推進センターでは、深い知見と実務経験が豊富な鉄道技術者をレールアドバイザーとして登録しています。

中小鉄軌道事業者会員に対し『レールアドバイザー』が現地を訪問して、助言を行うサービスです。

平成15年度から実施

平成18年度末までに26件実施

【その他の技術支援】

○推進センター講演会

レールアドバイザーによる講演を通じて、多くの方々へ技術的な助言を行っています。

○鉄道技術教材『わかりやすい鉄道技術』の作成



土木編



電気編



車両編・運転編

○平成18年度の主な「電話問合せ」の例

- ・ レール削正の有効性について
- ・ トロリ線の摩耗について
- ・ 電動モーターの文献について
- ・ 車輪軸の蛇行動について
- ・ 近接施工マニュアルの適用方法について
- ・ 地絡事故による電車線停電対策について
- ・ 弾性まくらぎ直結軌道の敷設について
- ・ 高速走行時の横揺れ対策について

○平成18年度の「現地調査」

- ・ 橋りょうの洗掘に関する現地調査
- ・ 車体上下振動に関する現地調査
- ・ コンクリート劣化調査
- ・ 車両基地内への落雷に関する現地調査
- ・ 落石対策に関する技術指導



○平成18年度の「訪問アドバイス」

- ・ 指導通信式による閉そく施行方法の改善等
- ・ 軌道の保守管理について
- ・ 運転取扱基準の作成について
- ・ 橋台、橋脚の補修について
- ・ 崩壊したのり面の復旧方法
- ・ 車両寿命の考え方について
- ・ 噴泥対策について
- ・ 車両の振動対策について

